

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1901

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	日本昔話・童話入門		クラス名
	副題			配当年次 1
	旧科目名			
	学問分野	番号	11	名称 文化・文学
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	金田文雄・文学部・教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年 4月 6日(水)～ 2011年 7月 20日(水)			
	水曜日 13時 00分～ 14時 30分			
	試験期間 2011年 7月 25日(月)～ 2011年 7月 30日(土)			
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時 の選考方法	志望理由により選考	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>この授業では、神話・伝説・昔話・童話を幅広く取り扱う。授業科目名には日本が冠されているが、グリム童話なども考察の対象としている。</p> <p>1) それぞれの定義 2) 構造 3) 特質の解明</p> <p>第1回 ガイダンスと定義 神話1 (さまざまな世界創生神話) 第2回 神話2 (神々と神話の体系) 第3回 伝説 (古典的な伝説と現代の都市伝説) 第4回 昔話1 「浦島太郎」の構造と変遷 第5回 昔話2 「物語の生成・赤頭巾」 第6回 昔話3 「物語の生成・桃太郎」 第7回 シンデレラの構造1 「ペローとグリム」 第8回 シンデレラの構造2 「こんなシンデレラでいいの？」 第9回 白雪姫のシンボリズム 第10回 絵本の世界 第11回 宮沢賢治「銀河鉄道之夜」 第12回 童話とメディア「宮崎駿の世界」 第13回 物語の現在形と未来形「押井守の世界」 第14回 神話の文法、昔話の文法、童話の文法 第15回 総括</p>			
11. 試験・評価方法	筆記試験100%。ただし随時レポートを受け付け(希望者のみ)、提出者には、成績評価に+αの評価を与える。			
12. 別途負担費用	なし			
13. その他特記事項	男子学生受講可			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1902

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	英語学研究Ⅰ		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名			
	学問分野	番号	12	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	中村浩一郎・文学部・教授			
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」		2. 「基礎知識を必要としない科目」	
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年 4月 8日(金)～ 2011年 7月 22日(金)			
	金曜日 14時 40分～ 16時 10分			
		試験期間 2011年 7月 25日(月)～ 2011年 7月 30日(土)		
8. 単位互換定員	10人 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	抽選	
10. 科目内容・授業計画	<p>英語学研究Ⅰは、日本語と英語の文法構造を比較して、その共通点・相違点を探ることが一番大まかな内容である。具体的には、主語・動詞・目的語という語順である英語と、主語・目的語・動詞とい語順である日本語とを比較し、共通点を探る。名詞や動詞の修飾構造についても議論する。更に、韓国語、中国語、イタリア語、フランス語、ドイツ語などの世界の諸言語とも比較し、共通点を探っていく。また、統語論の基本的な概念も解説する。</p>			
11. 試験・評価方法	各学期末に行う筆記試験で評価する。			
12. 別途負担費用				
13. その他特記事項	男子学生受講可			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1903

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	英語学研究 II		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名			
	学問分野	番号	12	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	中村浩一郎・文学部・教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」		2. 「基礎知識を必要としない科目」	
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年9月30日(金)～2011年12月16日(金)(11月11日(金)を除く) 及び2012年1月20日(金), 24日(火), 27日(金), 2月3日(金) 金曜日 14時40分～16時10分			
	試験期間 2012年2月4日(土)～2012年2月10日(金)			
8. 単位互換定員	10人 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	抽選	
10. 科目内容・授業計画	英語学研究 II では、具体的な構文を取り上げて、日本語と英語を初めとする世界の諸言語の文法構造の比較対照を行う。取り扱う構文は、文頭への移動現象を中心として、wh 疑問文、否定辞前置、話題化、焦点移動、提示文など多岐に渡る。			
11. 試験・評価方法	各学期末に行う筆記試験で評価する。			
12. 別途負担費用				
13. その他特記事項	男子学生受講可			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1904

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	心理データ解析法		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名			
	学問分野	番号	13	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	桐木建始・文学部・教授			
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期	
6. 基礎知識の有無	①「基礎知識を必要とする科目」 2.「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年9月22日(木)～2012年1月19日(木)			
	木曜日 14時40分～16時10分			
	試験期間 2012年2月4日(土)～2012年2月10日(金)			
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員40人)	9. 定員超過時の選考方法	抽選による。	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本講義では、これから心理学の研究を進めていく上で必要とされるデータ解析法の基礎を理解するとともに、コンピュータを用いた実践的な処理方法について習得することを目的とする。</p> <p>第1回 心理学研究とデータ解析法 第2回 データの特徴と記述統計法 第3回 測定尺度 第4回 度数分布、代表値、散布度 第5回 正規分布と相対的位置の推定 第6回 標本分布と統計的検定 第7回 t 検定 第8回 F 検定 第9回 χ^2 検定 第10回 実験計画法と分散分析 第11回 1要因分散分析 第12回 多要因分散分析 第13回 コンピュータを用いた分散分析の実際 第14回 相関と回帰 第15回 まとめ</p>			
11. 試験・評価方法	試験(60%)、課題レポート(約3回、30%)出席状況(10%)にもとづいて総合評価する。			
12. 別途負担費用	テキスト『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』森 敏昭・吉田寿夫編著 北大路書房(1990年)を使用する。			
13. その他特記事項	男子学生受講可			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1905

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門 I a		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学 I		
	学問分野	番号	11	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 4 月 11 日 (月) ~ 2011 年 7 月 11 日 (月) 及び 7 月 18 日 (月)			
	月曜日 9 時 00 分 ~ 10 時 30 分			
		試験期間 2011 年 7 月 25 日 (月) ~ 2011 年 7 月 30 日 (土)		
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代の詩人、桜井和寿は「愛はきっと奪うでも、与えるでもなくて、気がつけばそこにあるもの」(Mr. Children『名もなき詩』)と歌いました。この優れた歌詞は作家・有島武郎とトルストイの言葉に基づいています。そしてそれらの言葉はキリスト教の正典である聖書に由来しています。</p> <p>この授業においては、聖書の構成・内容や成立の歴史を学ぶことを通じて、また、その中に描かれるイエスの生涯と思想を学ぶことを通じて、古代の書物である聖書がなぜ・どのようにして、現代を生きる私たちと関わるのかを考えて行きたいと思います。</p> <p>初めてキリスト教に触れる学生を主な対象とします。文献資料、視聴覚資料を使用します。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(出席時間数が授業総時間数の3分の2に満たない場合は受験資格を失格する)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1906

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門Ⅱ a		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学Ⅱ		
	学問分野	番号	11	名称
				文化・文学
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 9 月 26 日 (月) ~ 2012 年 1 月 23 日 (月), 24 日 (火), 26 日 (木)			
	月曜日 9 時 00 分 ~ 10 時 30 分			
	試験期間 2012 年 2 月 4 日 (土) ~ 2012 年 2 月 10 日 (金)			
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代に生きる私たちの中には、身の周りの全て・世界の全てが、科学的合理性に基づいて説明可能であるかのように考える風潮があり、ともすればそれが常識であるかのように語られてもいます。そのような目から見れば「宗教」や「信仰」なるものはすでに時代遅れの遺物でしかありません。しかし、はたしてそれは本当でしょうか。</p> <p>また、一方で人の命を活かし、自由と平等をもたらす力を与える「宗教」や「信仰」が、しばしば争いや差別を生み出し、人の自由や命を損なう契機となってしまうのはなぜでしょうか。</p> <p>後期は、人間の根本にある「宗教性」(霊性・スピリチュアリティ・帰依心)に気付き、「祈り」について学ぶことで、心と感性の豊かさを育てるきっかけとしたいと思います。</p> <p>そのため、キリスト教の基本的成文祈祷である「主の祈り」と、本学のスクールモットー“CUM DEO LABORAMUS”を題材とします。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(4回以上の欠席者には単位を認めない)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1907

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門 I c		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学 I		
	学問分野	番号	11	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年 4月 7日(木)～2011年 7月 21日(木)			
	木曜日 14時 40分～16時 10分			
		試験期間 2011年 7月 25日(月)～2011年 7月 30日(土)		
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代の詩人、桜井和寿は「愛はきっと奪うでも、与えるでもなくて、気がつけばそこにあるもの」(Mr.Children『名もなき詩』)と歌いました。この優れた歌詞は作家・有島武郎とトルストイの言葉に基づいています。そしてそれらの言葉はキリスト教の正典である聖書に由来しています。</p> <p>この授業においては、聖書の構成・内容や成立の歴史を学ぶことを通じて、また、その中に描かれるイエスの生涯と思想を学ぶことを通じて、古代の書物である聖書がなぜ・どのようにして、現代を生きる私たちと関わるのかを考えて行きたいと思います。</p> <p>初めてキリスト教に触れる学生を主な対象とします。文献資料、視聴覚資料を使用します。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(出席時間数が授業総時間数の3分の2に満たない場合は受験資格を失格する)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1908

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門Ⅱc		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学Ⅱ		
	学問分野	番号	11	名称
				文化・文学
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年9月22日(木)～2012年1月19日(木)			
	木曜日 14時40分～16時10分			
	試験期間 2012年2月4日(土)～2012年2月10日(金)			
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代に生きる私たちの中には、身の周りの全て・世界の全てが、科学的合理性に基づいて説明可能であるかのように考える風潮があり、ともすればそれが常識であるかのように語られてもいます。そのような目から見れば「宗教」や「信仰」なるものはすでに時代遅れの遺物でしかありません。しかし、はたしてそれは本当でしょうか。</p> <p>また、一方で人の命を活かし、自由と平等をもたらす力を与える「宗教」や「信仰」が、しばしば争いや差別を生み出し、人の自由や命を損なう契機となってしまうのはなぜでしょうか。</p> <p>後期は、人間の根本にある「宗教性」(霊性・スピリチュアリティ・帰依心)に気付き、「祈り」について学ぶことで、心と感性の豊かさを育てるきっかけとしたいと思います。</p> <p>そのため、キリスト教の基本的成文祈祷である「主の祈り」と、本学のスクールモットー“CUM DEO LABORAMUS”を題材とします。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(4回以上の欠席者には単位を認めない)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1909

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門 I e		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学 I		
	学問分野	番号	11	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 4 月 12 日 (火) ~ 2011 年 7 月 19 日 (火), 23 日 (土)			
	火曜日 9 時 00 分 ~ 10 時 30 分			
試験期間		2011 年 7 月 25 日 (月) ~ 2011 年 7 月 30 日 (土)		
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代の詩人、桜井和寿は「愛はきっと奪うでも、与えるでもなくて、気がつけばそこにあるもの」(Mr. Children『名もなき詩』)と歌いました。この優れた歌詞は作家・有島武郎とトルストイの言葉に基づいています。そしてそれらの言葉はキリスト教の正典である聖書に由来しています。</p> <p>この授業においては、聖書の構成・内容や成立の歴史を学ぶことを通じて、また、その中に描かれるイエスの生涯と思想を学ぶことを通じて、古代の書物である聖書がなぜ・どのようにして、現代を生きる私たちと関わるのかを考えて行きたいと思います。</p> <p>初めてキリスト教に触れる学生を主な対象とします。文献資料、視聴覚資料を使用します。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(出席時間数が授業総時間数の3分の2に満たない場合は受験資格を失格する)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1910

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門Ⅱ e		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学Ⅱ		
	学問分野	番号	11	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年 9月 27日(火)～2012年 1月 17日(火)			
	火曜日 9時 00分～10時 30分			
		試験期間 2012年 2月 4日(土)～2012年 2月 10日(金)		
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代に生きる私たちの中には、身の周りの全て・世界の全てが、科学的合理性に基づいて説明可能であるかのように考える風潮があり、ともすればそれが常識であるかのように語られてもいます。そのような目から見れば「宗教」や「信仰」なるものはすでに時代遅れの遺物でしかありません。しかし、はたしてそれは本当でしょうか。</p> <p>また、一方で人の命を活かし、自由と平等をもたらす力を与える「宗教」や「信仰」が、しばしば争いや差別を生み出し、人の自由や命を損なう契機となってしまうのはなぜでしょうか。</p> <p>後期は、人間の根本にある「宗教性」(霊性・スピリチュアリティ・帰依心)に気付き、「祈り」について学ぶことで、心と感性の豊かさを育てるきっかけとしたいと思います。</p> <p>そのため、キリスト教の基本的成文祈祷である「主の祈り」と、本学のスクールモットー“CUM DEO LABORAMUS”を題材とします。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(4回以上の欠席者には単位を認めない)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1911

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門 I f		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学 I		
	学問分野	番号	11	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 4 月 11 日 (月) ~ 2011 年 7 月 11 日 (月) 及び 7 月 18 日 (月)			
	月曜日 14 時 40 分 ~ 16 時 10 分			
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持って来ることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代の詩人、桜井和寿は「愛はきっと奪うでも、与えるでもなくて、気がつけばそこにあるもの」(Mr. Children『名もなき詩』)と歌いました。この優れた歌詞は作家・有島武郎とトルストイの言葉に基づいています。そしてそれらの言葉はキリスト教の正典である聖書に由来しています。</p> <p>この授業においては、聖書の構成・内容や成立の歴史を学ぶことを通じて、また、その中に描かれるイエスの生涯と思想を学ぶことを通じて、古代の書物である聖書がなぜ・どのようにして、現代を生きる私たちと関わるのかを考えて行きたいと思います。</p> <p>初めてキリスト教に触れる学生を主な対象とします。文献資料、視聴覚資料を使用します。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(出席時間数が授業総時間数の3分の2に満たない場合は受験資格を失格する)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1912

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	キリスト教学入門Ⅱ f		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	キリスト教学Ⅱ		1
	学問分野	番号	11	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	澤村雅史・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 9 月 26 日 (月) ~ 2012 年 1 月 23 日 (月), 26 日 (木)			
	月曜日 14 時 40 分 ~ 16 時 10 分			
		試験期間 2012 年 2 月 4 日 (土) ~ 2012 年 2 月 10 日 (金)		
8. 単位互換定員	若干名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	①キリスト教に対する具体的な関心があること。②毎回必ず聖書を持ってこることができること。	
10. 科目内容・授業計画	<p>現代に生きる私たちの中には、身の周りの全て・世界の全てが、科学的合理性に基づいて説明可能であるかのように考える風潮があり、ともすればそれが常識であるかのように語られてもいます。そのような目から見れば「宗教」や「信仰」なるものはすでに時代遅れの遺物でしかありません。しかし、はたしてそれは本当でしょうか。</p> <p>また、一方で人の命を活かし、自由と平等をもたらす力を与える「宗教」や「信仰」が、しばしば争いや差別を生み出し、人の自由や命を損なう契機となってしまうのはなぜでしょうか。</p> <p>後期は、人間の根本にある「宗教性」(霊性・スピリチュアリティ・帰依心)に気付き、「祈り」について学ぶことで、心と感性の豊かさを育てるきっかけとしたいと思います。</p> <p>そのため、キリスト教の基本的成文祈祷である「主の祈り」と、本学のスクールモットー“CUM DEO LABORAMUS”を題材とします。</p>			
11. 試験・評価方法	出席を重視する(4回以上の欠席者には単位を認めない)。 筆記試験の成績60点以上			
12. 別途負担費用	無し			
13. その他特記事項	男子学生の受講 可 聖書(日本聖書協会新共同訳旧・新約聖書)を毎回持参できること。			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1913

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	世界遺産論		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名	文化史学		
	学問分野	番号	11	名称
				文化・文学
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	木本浩一・生活科学部・教授、 末永 航・同・教授			
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ②. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011年 4月 7日(木)～2011年 7月 21日(木)			
	木曜日 9時 00分～10時 30分			
	試験期間 2011年 7月 25日(月)～2011年 7月 30日(土)			
8. 単位互換定員	20名 (総授業定員人)	9. 定員超過時の選考方法	抽選	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>ユネスコの世界遺産条約が生まれた背景、世界遺産の概要を概説するとともに、アジア・ヨーロッパの事例を取り上げ、世界遺産と文明観・歴史観・地域文化・観光産業などとの関連について考察する。</p> <p>第1回「世界遺産条約と世界遺産の概要」。 第2回「日本の世界遺産、広島の世界遺産」。 第3回「京都・奈良の世界遺産(1)」 第4回「京都・奈良の世界遺産(2)」 第5回「京都・奈良の世界遺産(3)」 第6回「明治以降の文化財行政―城郭の破棄と保存」 第7回「まち並み保存と世界遺産―石見銀山を事例として(1)」 第8回「まち並み保存と世界遺産―石見銀山を事例として(2)」 第9回「地域行政と世界遺産」 第10回「インドの世界遺産―自然と文化(1)」 第11回「インドの世界遺産―自然と文化(2)」 第12回「イタリアとその周辺の世界遺産(1)」。 第13回「イタリアとその周辺の世界遺産(2)」。 第14回「その他のヨーロッパ諸国の世界遺産」。 第15回「国境を越える世界遺産と世界遺産の今後」</p>			
11. 試験・評価方法	(1) レポート(80%)・出席状況(20%)。 (2) レポート3回。			
12. 別途負担費用	なし			
13. その他特記事項	男子学生の受講可			

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1914

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島女学院大学			
2. 科目名	正式科目名	ウェブデザインⅡ		クラス名
	副題	HTML 入門		配当年次
	旧科目名			
	学問分野	番号	41	名称
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	中田美喜子・生活科学部・准教授			
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期	
6. 基礎知識の有無	①. 「基礎知識を必要とする科目」 2. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 4 月 12 日 (火) ~ 2011 年 7 月 19 日 (火)			
	試験期間 2011 年 7 月 25 日 (月) ~ 2011 年 7 月 30 日 (土)			
8. 単位互換定員	15 人 (総授業定員 50 人)	9. 定員超過時の選考方法	抽選	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>HTML を基本から学ぶ科目である。講義は e-learning で実施するため、インターネットに接続可能である場所で、学習ページにアクセスして講義を受講し、課題を遂行して実施するため、大学への登校を必要としない。</p> <p>基礎知識：コンピュータの操作が可能であり、ワープロが操作できる程度のスキルがあればよい。また電子メールをコンピュータから利用することが可能であることが必須である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットの基礎 ブラウザの基礎 2. Web サイトの基礎および著作権について 3. Web サイト制作の基礎 基本タグ 4. Web サイト制作の基礎 画像の表示 5. Web サイト制作の基礎 リンクの作成 6. Web サイト制作の基礎 色の知識と表の作成 7. Web サイト制作の基礎 表でレイアウト 8. Web サイト制作の基礎 表の応用 9. Web サイト制作の基礎 フレーム 10. Web サイト制作の基礎 スタイルシート 1 11. Web サイト制作の基礎 スタイルシート 2 12. Web サイト制作の基礎 その他の機能 13. ~15. 最終課題作成 			
11. 試験・評価方法	課題の提出状況および最終課題の出来具合で評価			
12. 別途負担費用	教科書 ￥1200 程度			
13. その他特記事項	インターネットが利用できメールアドレス (フリーアドレス不可) をもっていること (http://www.hju.ac.jp)			